会　議　録

1　会議名

令和６年度第６回八千浦区地域協議会

2　議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

・副会長の選出について（公開）

【報告事項】

・地域独自の予算事業の一覧について（公開）

【自主的な審議】

・今後の進め方について（公開）

3　開催日時

令和７年３月４日（火）午後６時３０分から午後７時５５分

4　開催場所

八千浦交流館はまぐみ　２階　第２学習室

5　傍聴人の数

２人

6　非公開の理由

―

7　出席した者（傍聴人を除く。）

・委　員：　大島会長、笠原（武）委員、笠原（幸）委員、佐藤委員、竹田委員、平野委員、古岡委員、栁澤委員、渡邉（修）委員、渡邉（裕）委員（欠席者１名）

・事務局：　北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、石﨑係長、丸山主任

8　発言の内容

【近藤副所長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第８条第２項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【大島会長】

・挨拶

・会議録の確認：渡邉（裕）委員、笠原（武）委員に依頼

議題【協議事項】副会長の選任について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

・第６回地域協議会　協議資料「八千浦区地域協議会の運営について」に基づき説明

羽深副会長が辞職されたため、新しく副会長を選任いただきたい。副会長の任務は会長を補佐し、会長がいない場合は会長代理を務めることになる。

【大島会長】

副会長の選任について、皆さんからご意見をいただきたい。

突然な話だが、まず選出にあたり、立候補はあるか。委員の選出となると、皆さん下を向いてしまうが、いかがか。１年間、意見交換をし合ってきて、この人をという推薦はあるか。

【竹田委員】

平野委員にお願いしてはどうか。１年間この地域協議会に出席した中で、平野委員からいろいろな方面から意見を出していただいている。そういう意味で皆さんと協力できるのではないかと思う。

【平野委員】

大変ありがたい話だが、現在の地域協議会会長は西ヶ窪浜の方である。私も西ヶ窪浜なので、会長、副会長ともに西ヶ窪浜になってしまう。できればほかの町内会から副会長に出ていただければと思う。

【大島会長】

立候補がないようなので、推薦はないか。

先ほども申し上げたが、１年間この協議会を行い、この人がいいのではないかという人を、ぜひ推薦いただきたい。

【渡邉（裕）委員】

会長が西ヶ窪浜の方なので、平野委員は尊敬しているが、推薦するのならば、笠原（武）委員はいかがか。キャリアもあり、八千浦の知識もあると思う。

【大島会長】

そのほかにあるか。

会長、副会長が同町内会から選出されることは禁止されているわけではないが、同じ町内会で固まってしまうことは避けたいと思う。今までの流れでも、前期仲田会長の時も、副会長は他町内会からということで選出されてきた。

ほかに意見がないようであれば、今までの推薦を受けて、最終的には、会長判断ということになろうかと思う。令和６年５月に私が会長になる際、副会長に笠原（武）委員の話も出た。このピンチの状況で、笠原（武）委員に助けていただけないかと、私は思っているが皆さんはいかがか。

決を採る。賛成の方は、挙手を願う。

（全員挙手）

笠原（武）委員、副会長席に移動願う。

それでは笠原（武）副会長、一言ご挨拶をお願いする。

【笠原（武）副会長】

前期から引き継いでいらっしゃる方が何人かおられるが、今日の地域協議会次第を見た段階で、こういう形になるだろうと予想はしていた。どれだけ力になるか分からないが、今回副会長を受けさせていただく。よろしくお願いする。

【大島会長】

それでは、引き続き次第に沿って進める。

議題【報告事項】地域独自の予算事業の一覧について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

・資料「令和７年度地域独自の予算事業　地域自治区別事業一覧表」に基づき説明

【大島会長】

今ほどの事務局の説明について、質問や意見はあるか。

【平野委員】

「八千浦地区地域活性化・健康増進事業　ニュースポーツＤＡＹ」の総事業費が１，１１２千円と書いてあるが、少し高いような感じがする。内訳が分かったら教えてほしい。

【佐藤所長】

ニュースポーツＤＡＹのイベント運営にかかる費用のほかに、先ほど申し上げたいく

つかの競技の道具等を調達する計画になっている。今、市内全域でニュースポーツが取り入れられつつある中で、これまでも、いろいろなところから道具を借りて、活動がなされていたようだが、今回は、八千浦地区に道具を調達し、皆さんがいつでも使えるような形を整えるということで、ご理解いただきたい。

【大島会長】

少し補足する。

この中で、私はモルックとカローリングの２種類に参加したことがある。氷ではなく、床の上で行うカローリングの道具が高い。佐藤委員も栁澤委員も参加したが、あの道具は、各地域からその都度たくさん借りていたが、八千浦地区に設置するとのことである。これが多分一番お金がかかっていると思う。次回からは、ぐっと事業費が下がると思う。

【平野委員】

１種類の競技をやるのかと思ったが、複数やられるということか。モルックやカローリングなど、四つくらいか。

【佐藤所長】

３種類である。

【丸山主任】

提案書では、夏、秋、冬と３回ニュースポーツＤＡＹが計画されている。いつも３つの競技を行うのではなく、夏はグランドゴルフとモルック、秋はカローリング、冬はモルックと種目を決めている。

【大島会長】

ほかに意見を求めるがなし。

この「ニュースポーツＤＡＹ」に関しては、回覧板やチラシで皆さんのところに回ると思うので、それを見ていただき、大会に参加していただくのも一つの地域の実態を知る方法なので、八千浦地区明るい町づくり協議会を盛り上げるためにも、是非足を運んでいただきたい。

それでは、次第に沿って進める。

議題【自主的な審議】今後の進め方について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

・資料№１「【八千浦区】地域活性化の方向性を基にした意見の整理表（Ｒ6.10.2/12.3意見追加)」に基づき説明

【大島会長】

１２月の地域協議会では、秋祭り、町内会行事で皆さんの意見が盛り上がった。保倉川放水路については、なかなか情報が少なく、大きなテーマではあるが進捗できないという状況である。また、子育て世代との意見については、今まで男性の委員が多かったが、今期、昨年春から女性委員が２名増えて、こういう意見も出てきたと思っている。上越市全体を見ると、やはり協議会委員の高齢化が問題視されているし、各地域のＰＴＡや、地区の町内会とどうやってパイプをつないで意見を集めるのかということが問題になっている。

これらについて、いかがか。

【佐藤委員】

「子育て世代の意見を聞きたい」ということについてお話したい。漠然と子育て世代の話を聞きたいということであると、少し分かりにくいのではないか。

地域協議会等の会議に若い人に集まってもらって意見を聞くのはいいが、例えば、町内会の回覧に子育て世代向けアンケートや意見を言えるような二次元コードを載せて、そこに意見を入力し投稿してもらう。そうすれば、もっと八千浦区内のいろいろなところから地域協議会に意見が集まるのではないか。ただ意見を聞きたいということではなく、いろいろな項目を設けて、そこに投稿する方の意見や自由記述欄を入れる。スマホのない方からは、紙で出してもらうなどすれば実現できる事だと思う。

【大島会長】

確かに意見を出してほしいと言っても、なかなか出ないものなので、意見の出しやすい仕組みを構築していかなければいけないと思う。それは子育て世代の問題だけではなくて、ほかの年代にも全て当てはまると思うので、すごくよい意見だと思う。

【笠原（武）副会長】

私は地域活性化の方向性・構成要素⑤「保倉川放水路計画を踏まえたまちづくりの推進」について、具体的な検討項目や方向性が見えず、地域内の議論が停滞しているように見える。保倉川放水路の方向性が出てきた段階で、八千浦地区明るい町づくり協議会を中心に、ＰＴＡや他の団体の代表者が集まって、少し前向きに今後のことを検討するようなことを、この地域協議会から提案をしてはどうかと考えている。

【大島会長】

保倉川放水路については、八千浦地区だけの問題ではなくて、国も県も関わっている

問題なので非常に難しい。

【渡邉（修）委員】

保倉川放水路の件は国や県の動きがあってこそであり、住民側から先行して意見する件でもないと思う。夷浜住民としては国や県から何か情報がないことには対応できない。ボールは向こうにあるので、今は何も言ってみようがないと私は感じている。

【大島会長】

実際に、何も形が決まっていない状態でこちらから意見をするというのは難しい。先方からアクションがあれば、夷浜町内会には最初に情報が行くと思うし、この協議会にも事務局に連絡が入ることになっている。保倉川放水路の件は、今後、市の担当課から情報が入り次第、協議を深めていくこととしたい。

【平野委員】

前回のこの会議のときに、渡邉（修）委員から、保倉川の件について、「家の数や人口が少なくなってしまう。それを防ぐために、保倉川放水路に関わる家の代替地を提供してもらえたら、人口や家の数もそれほど減らなのではないか」という意見があった。それを進めていくにはどうしたらよいか。いろいろ決まってからでは遅いので、何らかの形で、どこかに案をぶつけていきたい。

【大島会長】

渡邉（修）委員にお伺いしたい。何か情報はあるか。

【渡邉（修）委員】

私は夷浜だが、まず、川幅の法線がおぼろげである。それがわからないことには、法線にかからない家の人があれこれ言う必要もない。私どもの住んでいる町内としては、どこまでが放水路にあたるのかを早めに知りたい。そこがスタートとなるのではないかと思う。

夷浜市営住宅が法線に係る可能性があり、現在の市営住宅はずいぶん古くなってきているので、放水路の工事を機にこれからの時代にふさわしいような建物を作ってもらえば、少しでも賑わい、雰囲気が変わるのではないかと私は思っている。

【佐藤所長】

今、いろいろとお話しいただいたが、そのような話を資料№１の「保倉川放水路計画を踏まえたまちづくりに推進」の事務局案のところにあるように、これから地域協議会へ担当部署が来て話をする機会を設ける形で進めていきたいと思っている。担当部署の

話を聞いた後、またこの協議会で議論していただきたい。現在お住まいの方もいらっしゃり、少しデリケートな話でもあるので、この場はここで納めさせていただきたい。

【大島会長】

こちらの件は、事務局の説明のとおりに進めさせていただきたいと思う。

引き続き、海岸線の件について事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

・資料№.１【構成要素④】に基づき説明

海岸清掃について１２月にたくさんの意見をいただいたが、まずは現状を知るために海岸線を視察することに決定した。視察に向けた準備として、今日はこれから二つのグループに分かれて、視察箇所や視察ポイントについてアイデアを出す話し合いを行いたいと考えている。

・資料№.２「海岸線視察に向けて」に基づき説明

なるべく多くの委員さんから参加いただけるように、日程をこれから調整していきたい。

【大島会長】

それでは、今回は二つのグループに分かれて意見交換をしたいと思う。各グループに会長と副会長が入り、司会は会長、副会長が行って進めていきたい。

－　グループ別協議　－

【大島会長】

各グループの話し合いの結果を発表していただく。平野委員からお願いする。

【平野委員】

西ヶ窪浜と夷浜を中心に検討した。

ごみが多く気になるところ、他の委員にも是非見てもらいたいというところは、２件である。黒井から西ヶ窪浜まである海岸道路の海側と、南側の土手周辺が非常にごみが多いので、皆さんから是非見てもらいたい。夷浜のグラウンドから海方面に抜ける道を、少し行ったところの左側、直江津寄りに広い空き地がある。そこもやはりごみが多く、是非見てもらいたい。

きれいな場所、効果的な取組や対策を行っていると感じる場所は、西ヶ窪浜のグラウ

ンドとゲートボール場、そこから海のほうに向かった林の中も整備しているので、ぜひとも見ていただきたい。また、遊光寺浜の中部電力の鉄塔跡地も県道の南側と北側で整備・管理されているようなので、見られてはどうかと思う。

八千浦区以外の場所で綺麗だと感じるところは、大潟区で２件ある。１件は渋柿浜公民館の海側のグランドの周りの林の中。そこもだいぶ整備されているようである。もう１件は土底浜のガスタンク周辺である。少し奥だが、その付近の林の中もきれいだということで、そこを見ていただいて、場合によってはどういう管理をしているのか調べたらいいのではないか。

【大島会長】

続いて、古岡委員からそちらのグループの意見をお願いする。

【古岡委員】

視察場所のアイデア出し、ゴミが多く気になるところ、他の委員に見てもらいたい場所については、こちらのグループでは具体的な場所についての意見は出なかった。希望になるが、みんなで黒井の浜に一度降りて、その浜辺がどうなっているか、そこから西ヶ窪に向かう一本道の、左右のごみがどうなっているのか視察したい。

上越火力発電所は、よくごみを拾っていただいているということで、上越火力発電所から現状について話を聞いてみたいとの意見が出た。

八千浦区外で参考になる場所については、私の感じた中では、直江津の海は直江津の商店街でいろいろなイベントや花火大会を実施しているからか、比較的きれいなのではないかと感じている。

【大島会長】

事務局は、出た意見を参考に、視察について調整をお願いする。

その他について、事務局連絡はあるか。

【丸山主任】

次回の協議会の日程については、会長と相談の上決定し、日程が決まり次第、開催案内を送付する。

【大島会長】

意見、質問等があれば、事務局にメール、または、個々に連絡を願う。

・会議の閉会を宣言

9　問合せ先

総合政策部　地域政策課　北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

１０　その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。